

編輯後記

スポーツ危機管理研究所 尾川 翔大

新型コロナウイルスの世界的な拡大、2020東京オリンピック・パラリンピックの延期という事態の中で、本誌の編集作業は進められました。この間、資料収集や聞き取り調査をはじめとし、講演会や研究会などの研究活動のあり方が大きく変化しています。テーマの変更や研究の中断を余儀なくされたという話も耳にします。一方で、オンラインでの研究活動の急速な広まりや資料の公開が進み、移動しなくとも研究活動を進める方法が拡張しました。長短ありますが、この状況を生きる知恵を創発していく必要があるように思います。

さて『スポーツ危機管理研究』第3号では、特別寄稿1編、研究資料2編、実践研究1編、研究プロジェクト報告5編が掲載されています。執筆された皆様、査読をはじめとして本誌の編集にご協力いただいた皆様に御礼申し上げます。

本号の構成を振り返ってみたいと思います。まず、学校体育や運動部活動に対して問題提起を続けている内田良先生より特別寄稿をお寄せいただいたことは、本研究所にとって大きな財産になりました。南部論文では、運動部活動における裁判事例の分析しており、これまでの分析と併せて体育・スポーツ界に警鐘を鳴らし続けています。尾川論文では、日本型企业スポーツ選手の生活リスクについて企業スポーツ選手を題材として社会的に論じています。亀山論文では、学友会ラクロス部における安全管理に関する実践事例を取り上げており、学友会の活動自体は「第1回 UNIVAS AWARDS 2019-20 安全確保に関する取り組み優秀賞」を受賞していることを申し添えておきたいと思います。研究プロジェクト報告では、経過報告や総括がなされています。2021年度より研究プロジェクトを再編し、スポーツ危機管理に関する研究をより充実させていきたいと考えています。

スポーツ危機管理上の問題事象は、近年になってようやく問題として取り上げられるようになった部分も少なくありません。ただ、表面化した問題は氷山の一角にすぎないとも思います。一連の問題は長い年月をかけて堆積されたものであるため、すぐに万事解決できるものではありません。本研究所は、粘り強く着実に活動していきたいと思っています。

スポーツ危機管理研究 第3号 2020

発行日 2021年7月31日
発行者 日本体育大学スポーツ危機管理研究所
〒158-8508 東京都世田谷区深沢7-1-1
TEL 03-5706-1054
制作・印刷 株式会社 図書出版
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-12-8 水道橋ビル3F
TEL 03-3263-5740